

福島第一原子力発電所 ほう酸水注入設備タンクヒータのケーブル変色および端子台のこげ跡について

< 参考資料 >
平成25年4月5日
東京電力株式会社

< 事象の概要 >

- ・平成25年4月5日午後0時55分頃、ほう酸水注入設備タンクAのNo. 2ヒータのケーブルの変色および端子台の焦げ跡を、No. 1ヒータ点検を行っていた当社社員が発見。
- ・同日午後1時45分にNo. 1ヒータを起動し、ほう酸水タンクAのほう酸水温度制御を再開。
- ・No. 1ヒータの運転状態に異常はない。
- ・その後、ほう酸水温度は、No. 1ヒータの動作確認（通電確認）により、温度制御停止前の約15 から約18 に上昇しており、運転上の制限値（ほう酸水溶解度に対するほう酸水温度）約4 に対し十分余裕がある状況。
- ・同日午後3時30分、消防により、火災ではないとの判断をいただいた。

< 主な時系列 >

- | | |
|---------|--|
| 午後0時55分 | SLCタンクヒータ制御盤（A2）盤内の端子台こげ跡確認（確認時に発煙等は無かった） |
| 午後1時5分 | 消防へ連絡 |
| 午後1時45分 | ほう酸水注入設備タンクヒータ（A1）の交換が終了したことから、No. 1ヒータを起動し、ほう酸水タンクAのほう酸水温度制御を再開
ヒータ（A1）動作良好であることを確認（SLCタンク温度17 ） |
| 午後3時30分 | 消防により、火災ではないとの判断をいただいた |

現場の状況写真（平成25年4月5日撮影）



ほう酸水タンクヒータ制御盤（A）
（ほう酸水タンクA上部）



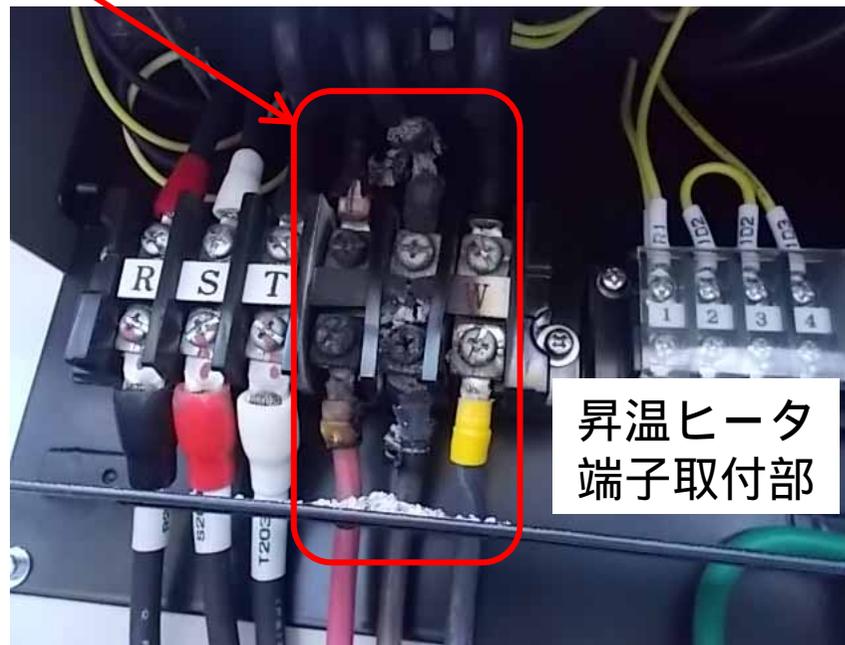
ヒータA 1 制御盤

ヒータA 2 制御盤

ヒータはタンク 1 基につき 2 台
設置している。



ほう酸水タンク外観
（左からほう酸水タンク A , B）



昇温ヒータ
端子取付部

ヒータ制御盤 A 2 端子部
（端子カバー取外後）